

編集後記

牛窪 隆太 (特集号編集責任)

『言語文化教育研究』特集号をお届けする。

特集号の企画が持ち上がったのは、2012年の夏合宿の帰り道だったと思う。言語文化教育研究会10周年の節目の年に、何かできないかという話が編集委員の間で持ち上がった。それ以降、今までの議論を振り返り、言語文化教育研究の広がりを確認できるような特集号を目標に、編集作業を進めてきた。「言語文化教育の思想」というテーマは、雑誌のコンセプトを決める編集委員会の会議の席で出されたものであるが、ことばの教育を単なる方法の問題としてではなく、思想の問題として捉えなおそうとする、言語文化教育研究の原点にある強烈なアイデンティティをうまく表わしていると思う。

特集号には、29本のエントリーがあり、年末年始の多忙な時期の査読コメント、編集会議を経て、論文19本(うち、寄稿論文2本)の掲載が決定した。予想以上に多くのエントリーがあったため、査読協力者の方々には負担をお願いすることになってしまったが、執筆者と査読協力者の対話を経て、掲載が決まったそれぞれの論文からは、言語文化教育研究の思想の広がりをはっきりと確認することができる。丁寧で建設的、かつ批判的な査読コメントをつけてくださった協力者の皆さんにお礼を申し上げたい。また、寄稿としてお願いした2論文からは、言語文化教育の理論と実践が、個人の中でも広がりを見せていることが読み取れ、こちらも興味深いものになっている。

特集号のもう一つの企画である「近況」には、関係の方々を中心に、現在の言語文化教育と自分の関係を綴った報告が集まった。それぞれの現在の問題意識から、言語文化教育の10年が、個人の中でどのように熟成され、実践されているかが伝わってくるだろう。

『言語文化教育研究』は、次号から発行元を変え、次の10年へと進み始める。充実した議論を行なうことができる、開かれた言説空間——言語文化教育をめぐる思想が、今後10年、さらに刺激的に、そしてときにあたたかく、展開していくことを願ってやまない。(うしくぼ・りゅうた)

執筆要領

1. テーマ

「言語文化教育」に沿った内容のもの

2. 内容

それぞれの立場と言語文化教育との関係がわかりやすく記述されたもの。
結論において執筆者の主張が明確に打ち出されたもの。

3. 分量

制限なし

4. 書式

1. 投稿原稿は原則として、「A4 判横書きの Microsoft Word 形式」または「テキストファイル形式」とし、句読点（「,」「。」）を使用その他の記号は全角、欧文・数字は半角扱いとする。
2. 投稿原稿には、本文の前に概要（200 字程度）、キーワード（5 字程度）を付すこと。
3. 文献は、著者別 50 音順にあげること。欧文その他の文献は、和文文献のあとにアルファベット順にまとめること（詳細は、以下の URL から言語文化教育研究所の「論文執筆ガイド」を参照）。
・ URL：<http://www.gbki.org/styleguide.html>

以上

本誌の編集方針

本誌のタイトルどおり、ここでの大きなテーマは、「言語文化教育とは何か」という問いを追求することである。理論的・実践的に新しい「言語文化教育」の在り方・その実践方法を探求していくことが本誌の目的である。そのために以下のような方針で本誌を編集する。

- ・他の論文誌では取り上げられにくい、日本語教育の問題として考える意義があるものを積極的に取り上げていく。
- ・萌芽研究的なものや、教室実践の具体的な様相に十分な紙幅を割いて論じることのできる言説空間を築く。
- ・自己完結するのではなく、開かれた議論を目指し、「コメント論文」「書評論文」などを積極的に取り上げ、対話的論文誌を目指す。

なお、この教育研究誌の母体は、早稲田大学日本語教育研究センターが主催する言語文化教育研究会である。

2011年5月 細川英雄

※『言語文化教育研究』に関する問い合わせは、Eメールにて、『言語文化教育研究』事務局までお送り下さい。

・『言語文化教育研究』事務局： list@gbkk.jp

※『言語文化教育研究』のバックナンバーは、言語文化教育研究会のWEBサイトから閲覧できます。

・URL： <http://gbkk.jp>

編集委員（50音順）

牛窪隆太（特集号編集代表）、佐藤貴仁、田中里奈、張珍華、古屋憲章、山本晋也

査読協力者（50音順）

市嶋典子、牛窪隆太、佐藤貴仁、塩谷奈緒子、牲川波都季、田中里奈、張珍華、鄭京姫、古屋憲章、三代純平、山本冴里、山本晋也

言語文化教育研究 第11巻

特集号「言語文化教育の思想」

発行日 2013年3月26日

編集責任者 細川英雄

発行・編集 早稲田大学日本語教育研究センター 言語文化教育研究会

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-7-14-705

<http://gbkk.jpn.org/>

D T P ケイ商店

© 2013 本書の一部または全部について、著作者から承諾を得ずに複写・複製・転載することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。